

震災記念堂

【国登録有形文化財】

濃尾震災
百二十年



第Ⅰ部では例年通りの祥月命日の供養を執行します。
今年三月の東日本大震災の犠牲者は二万三千人と濃尾震災の五年後に発生した明治三陸津波の犠牲者二万二千人を超える国内最大の災害となりました。
第Ⅱ部において、東日本大震災の犠牲者を悼み、これ以上の被害を繰り返さないことを願いつつ、中央防災会議専門調査会有志の方々に交えて、百二十年を記念するイベントを行います。



* 岐阜バス
JR岐阜駅前バス停
11番12番
名鉄岐阜バス
4番からN系統
(長良方面)に乗車
「柳ヶ瀬」、
「市役所南庁舎前」下車

*** 事前申し込み制です。**
*** 駐車場はございません。**
周辺民間駐車場を
御利用下さい。

- 開催日: 2011年10月28日(金)
- 場所: 岐阜市若宮町2-10 震災記念堂

第Ⅰ部 120年法要執行 午前10時～
導師: 浄土真宗本願寺派 祐蓮寺住職 箕浦良信
主催: 宗教法人 記念堂

第Ⅱ部 いまこそ 地域の災害を見直そう 午前10時30分～12時

講演: 伊藤和明 NPO法人防災情報機構会長 「災害教訓を生かすために」
杉戸真太 岐阜大学理事 「巨大地震災害に備えて」
平野啓子 語り部・武蔵野大学非常勤講師 「濃尾地震数え歌」が伝える教訓
西村道代 記念堂 「記念堂とともに」

進行係 北原系子(立命館大学歴史都市防災研究センター教授)

参加者へは内閣府中央防災会議専門調査会がこれまで25冊刊行した災害史をコンパクトにまとめた「災害史に学ぶ」(4冊)を内閣府のご厚意で無料配布します。

主催: 濃尾震災記念堂保存機構・内閣府災害教訓の継承に関する委員有志

後援: 岐阜県 岐阜市 岐阜市教育委員会 岐阜新聞・岐阜放送

●「往復はがき」(10月10日消印有効)に「住所・氏名・人数」記入し、お申し込み下さい。

参加費無料/定員80人(80人以上は抽選)。問合せ先電話番号: 090-9685-2140

●申込先: 濃尾震災記念堂保存機構/岐阜市若宮町2-10 (代表 西村邦彰)

●受付開始: 9:30 “はがき”を受付でご提示下さい。